

新年度予算案の審査から

3月定例会では新年度の予算について厳正に審査を行いました。
委員会でどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

問 今回の予算は、「変革を加速する予算」と位置づけ、過去最大規模とのことですが、変革にチャレンジしていくためには、一方で経費を削減するなどコスト意識が求められると思いますが、市長としてどのように考えていますか。

答 物価高騰により各経費も上がり、事業費の見直し、効率化を中心に取組んできましたが、今後はスクラップ・アンド・ビルドの考え方により、事業をやめることができるかどうか見極め、取捨選択を進めていく必要があると考えています。

DX推進事業

問 書かない窓口を実施することのことで、人件費の削減に繋がりますか。

答 書かない窓口は、申請する際の手書きの負担が減ること、市民サービスは向上しますが、窓口の人員を減らせることには繋がらないと考えています。今後、オンライン申請の浸透により、徐々

に来庁者の減少が見込まれるため、来庁される方に対する、より丁寧な対応に努めます。

広聴事業

問 新たに導入するeモニター制度は、どのようなものですか。

答 インターネットを活用したアンケート調査で、市報、ホームページ、SNS等を通じモニターとして市民200名を公募し、年間10回程度実施するアンケート調査に協力いただくものです。

市民協議会運営事業

問 市民協議会とは、どのような市民が参加し、実施していきますか。

答 市政に参画されたことがない市民からの意見も取り入れることができるよう、無作為に選ばれた市民が討議する課題について自身の意見を持つて参加いただき、市政に対する議論を重ね、出された意見を集約して提言にまとめる会議として実施します。

防災カメラ整備事業

問 防災カメラをどのように整備し、運用することを考えていますか。

答 神戸川、稗田川の、水位計が見える橋付近の電柱に設置を予定しています。職員や住民が、河川に近づかずとも、水位等の河川の状況が確認できるよう、YouTube等を活用して、ライブ映像をホームページに添付掲載していく予定です。



総務委員会の様子

文教厚生委員会

重層的支援体制整備事業

問 アウトリーチ継続的支援事業について、コミュニケーションソーシャルワーカーの増員に伴い、配置や相談を受ける体制に変更はありますか。また、このことを市民に改めて周知する考えはありますか。

答 コミュニティソーシャルワーカーは、3名から5名に増員します。各中学校区に1名配置し、既存の相談窓口で受け、相談内容によっては、必要に応じてコミュニティソーシャルワーカーにつなぎます。人員増加は、市民からの相談体制には変更がないため、改めて市民への周知を図る考えはありません。

市立花園保育園民営化事業

問 花園保育園西側からのアクセスの確保に向けた地権者との交渉が難航していると聞いていますが、令和5年10月の開園までに間に合いますか。

答 当初から予定していたとおり、保育園西側からのアクセスが確保できるよう、